



Q 毎年、熱中症に関する新聞記事を多く見かけます。今年も身近で発生しないか心配しています。熱中症を防ぐために会社として準備することや、注意すべきことを教えてください。

熱中症予防対策のポイントは

A 鳥取県内においても、熱中症による救急搬送率が高いという記事が、昨年もあったと思います。

熱中症による休業4日以上、業務上疾病者数は、令和4年は、全国で805人であり、そのうち死亡者数が28人でした。

熱中症は、屋外だけでなく、屋内でも、また作業内容を問わず発生していますので、あらゆる職場で、会社においてその予防対策をとる必要があります。

熱中症の予防対策をとるためには、まず、働く場所の状況把握が重要で、熱順化への対応、水分・塩分の摂取、作業開始前「WBGT指数」を測定できる「WBGT指数計」を準備しましょう。「WBGT指数計」を準備し、WBGTに基づいて、食事、飲酒、睡眠など日常の健康管理を確認し、適切な服装の準備、ヘルメット、作業時間や作業中止のルール、新規入職者や休みの明け労働者に配慮した暑熱対策を、

それから、休憩場所の「STOP!熱中症ク」確保、適切な服装の準備、ヘルメット、作業時間や作業中止のルール、新規入職者や休みの明け労働者に配慮した暑熱対策を、

厚生労働省では5月か

鳥取労働局健康安全課

電話0857(29)1704